

■ 辰己 百恵 議員 令和8年 第1回定例会 代表質問

問 令和8年度予算に対する市長の思いについて

答 子育て支援施策、特に待機児童解消に向けた施策として、認可保育所の増設に対する補助などによる定員拡充のための予算を計上。こども家庭センターを設置し、家事・子育て等に不安を抱えた子育て世帯の訪問支援やヤングケアラーコーディネーターの配置など、相談支援体制の強化への取組、市民生活を守るため、国の交付金を活用した物価高騰対策特別給付金、交通安全対策として、自転車乗車用ヘルメット購入費の補助や通学路整備、老朽化した公共施設への対応として、ふれあいプラザ改修工事、学校施設長寿命化改修などの経費を計上し、市民の安心・安全を第一として予算編成をしました。(市長)

問 教育問題について。

答 公立小中義務教育学校の給食一食当たりの単価を上げ、小学校の給食費は、国・県からの交付金と市の負担により保護者負担額をゼロ。中学校は公費の負担により、保護者負担額を据え置き。(教育委員会)

問 上下水道について。

答 令和8年3月に、「第3次経営戦略」を改訂する予定である。現行のま

までは、水道事業・公共下水道事業ともに将来的に経営が困難になる。
水道料金・下水道使用料の適正化に向けた検討の加速が必要。(上下水道局)

■ 菅野 文男 議員 令和8年 第1回定例会 個別質問

市の人事について

問 令和7年4月1日時点の全職員に対する女性職員の人数と割合は。

答 一般職員、フルタイム再任用職員、一般任期付職員の合計人数は1340人。そのうち女性職員は442人。割合はおよそ 33%です。(総務部)

問 今後女性職員の登用についての考えは。

答 女性ならではの視点や経験などは、より良い意思決定や問題解決に寄与し、組織全体の活性化につながるものと考えられるため、職場環境の整備や積極的な登用が必要であると認識しています。(総務部)

■ 令和8年 第1回定例会 委員会質問

■ 萩原 麻由美 議員〔予算〕

子どもの居場所作りについて

問 来年度具体的な取組は。

答 8月に試行的取組として庁舎敷地内の多目的棟会議室に学習やくつ

ろぎスペースを備えた子どもの居場所を設しニーズや課題を確認し今後の方向性を検討します。(子ども部)

要望 ニーズや課題は子どもに限らずその保護者にも確認していただくよう要望。

小・中、義務教育学校の民間プール施設利用について

問 ふれあいプラザ改修工事開始による影響は。

答 利用していた3校は、印西市の民間施設の利用を予定しています。
(教育委員会)

中学生のスマホ利用について

要望 一部の学校で実施しているネット安全講座は好評のため、全校実施を要望。